

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																				
専門学校西鉄国際ビジネスカレッジ	平成6年3月23日	椎葉小夜子	〒810-0014 福岡県福岡市中央区平尾1-13-32 (電話) 092-522-3135																				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																				
学校法人西鉄学園	昭和37年2月27日	部谷 由二	〒816-0922 福岡県大野城市山田3-12-1 (電話) 092-586-2480																				
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士																		
商業実務	商業実務専門課程	エアライン科		平成23年文部科学省 告示第167号	—																		
学科の目的	業界で働く覚悟、国際的なマナーとホスピタリティを身につけ、長年に渡って活躍できる人材を育成する。 航空業界で働くCA、グランドスタッフ、グランドハンドリングを目指すため必要な知識技能を修得する。																						
認定年月日	平成26年3月31日																						
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																
2年	昼間	110	68	52	6	0	0																
時間																							
生徒総定員	生徒実員	留学生数 (生徒実員の 内数)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																		
170	82	5	3	26	29																		
学期制度	■前期: 4月1日～8月4日 ■後期: 9月12日～2月2日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 期末試験もしくは実技試験。 A: 80%以上、B: 60%以上、C: 50%以上、D: 50%未満 進級・卒業判断時に所定の単位以上を取得し、期日までに学費を納入すること。																		
長期休み	■学年始: 4月1日 ■夏季: 8月5日～9月11日 ■冬季: 12月20日～1月4日 ■学年末: 2月3日～3月31日			卒業・進級 条件																			
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 週1回のホームルーム、個別面談など			課外活動	■課外活動の種類 クラス委員長会・行事委員会等  ■サークル活動: 有																		
就職等の 状況※2	■主な就職先、業界等(令和3年度卒業生) 航空業界			主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和3年度卒業者に関する令和4年5月1日時点の情報)																		
	■就職指導内容 担任及び就職担当教員による指導				<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アマデウスシステム 検定</td> <td>③</td> <td>38人</td> <td>37人</td> </tr> <tr> <td>貿易実務検定</td> <td>③</td> <td>1人</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>危険物取扱者(乙 種4類)</td> <td>③</td> <td>4人</td> <td>1人</td> </tr> </tbody> </table>			資格・検定名	種	受験者数	合格者数	アマデウスシステム 検定	③	38人	37人	貿易実務検定	③	1人	1人	危険物取扱者(乙 種4類)	③	4人	1人
	資格・検定名	種	受験者数		合格者数																		
	アマデウスシステム 検定	③	38人		37人																		
	貿易実務検定	③	1人		1人																		
	危険物取扱者(乙 種4類)	③	4人		1人																		
■卒業生数 : 69 人																							
■就職希望者数 : 68 人																							
■就職者数 : 68 人																							
■就職率 : 100 %																							
■卒業者に占める就職者の割合 : 98.6 %																							
■その他 (平成 3 年度卒業者に関する 令和4年5月1日 時点の情報)																							
中途退学 の現状	■中途退学者 8 名 令和3年4月1日時点において、在学者129名(令和3年4月1日入学者を含む) 令和4年3月31日時点において、在学者121名(令和4年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 意欲減退、進路変更など			■中退率 6.2 %																			
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 IBC特待生制度[授業料の免除]・ホスピタリティ特待生制度・学生寮特待生制度・サポート制度[資格・検定取得者、出席優良者] 等 ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象																						
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無																						
当該学科の ホームページ URL	<a href="http://ibc.ac.jp">http://ibc.ac.jp</a>																						

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針  
教育の質の保証及び改善をするため、教育活動の状況に関する評価を行い、業界の要請を十分にいかしつつ実践的かつ専門的な職業教育を主体的に実施する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

校務運営規程に基づき科毎に科会を設け、学科長を置き教育の質の保証・改善のために担当科の教育課程編成委員会へ参加し、教育課程編成委員会での審議を各科で検討を行い学内会議を経て採用される。

- ・校務運営規程第6章 教育課程編成委員会第11条
- ・校務運営規程第8章 校務分掌第14条

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和4年5月1日現在

名前	所属	任期	種別
江里口 愛	THE BASICS FUKUOKA	2022年4月01日～2023年3月31日	③
山本 周史	株式会社西鉄ホテルズ	2022年4月01日～2023年3月31日	③
水城 弘幸	西鉄旅行株式会社	2021年4月01日～2023年3月31日	③
松浦 幸平	株式会社JALスカイ九州	2021年4月01日～2023年3月31日	③
佐竹 恵一	株式会社JALグランドサービス九州	2021年4月01日～2023年3月31日	③
江口 哲郎	JR九州サービスサポート株式会社	2021年4月01日～2023年3月31日	③
堤 晃司	公益財団法人 福岡観光コンベンションビューロー	2022年4月01日～2023年3月31日	①
三浦 芳徳	公益財団法人 産業雇用安定センター	2022年4月01日～2023年3月31日	①

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(6月、10月)

(開催日時(実績))

第1回 令和4年6月22日 10:00～12:00

第2回 令和4年9月30日 10:00～12:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

意見:特殊車両の導入。校内サービスコンテストの実施

活用:課題は多いが前向きに検討

意見:新入社員においてコミュニケーション力の低下、体調不良による欠勤、PC操作が苦手、適応力の衰えがうかがえる。

活用:考える力を強化しPC授業を充実させる。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

学校教育に理解があり、後継者育成の一環として実務の経験ができる場を積極的に提供し、学習成果の評価を行う体制をとることが可能な企業を選定している。また、学校が教育している知識や技術等の習得が可能でかつ後継者の育成に力をそそぐ企業への新規開拓も実施している。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

実習の実施前に打ち合わせを行い実習内容詳細について決定する。実習期間中、担任が各企業を訪問し、学生の学習状況について直接確認するとともに、実習担当者との情報交換を行う。  
実習終了時には、実習担当者による学生の学習成果の評価をふまえ、担任が単位認定を行う。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
アマデウスアルテア	航空会社の予約システムの基本操作を習得する	アマデウスジャパン
エアカーゴ概論	航空貨物取扱についての知識実務を学ぶ。	JALカーゴサービス九州
ホスピタリティ学	航空業界におけるホスピタリティを学ぶ	西鉄エアサービス
グランドハンドリング	航空機地上業務・航空輸送業務に対する知識を習得する	JALグランドサービス九州
企業実習	授業で学習した理論と実技の一体化を目的とし、社会人としての厳しさ、基本的な業界の知識や技術の習得を目的とする。	JALスカイ九州、スカイマーク、福岡空港サービス、エアカーゴサービス

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

・教職員規程 第1章及び第2章

研修計画(教職員研修規程 第2章 第6条による)

(1) 学校及び部室主催の研修 年1回以上

(2) 関係団体や業者が主催する研修 不定期年1回以上

(3) 校長により承認された業界実習や通信教育等の自己啓発研修 適宜

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「面接指導とキャリア教育について」(連携企業等: 西鉄エアサービス)

期間: 4月20日(土) 対象: エアライン科講師

内容: 企業の人事担当者を招き意見交換。 詳細: 採用面接試験を想定し、学生に対しての企業の人事担当者と教員が共同で面接を行い、採用担当者の視点や企業が求めるニーズと教育の現状とのギャップについて話し合った。また、教育成果として学生の釈迦人スキルの到達度評価も行い、教育活動に生かすための意見交換会を実施した。

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「学生とのコミュニケーション」(連携企業等: 公認心理士)

期間: 令和4年8月10日 対象: 教職員

内容: 教職員ができる学生への支援・対応策をメンタルヘルスの視点から考える

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「業界の求める人材について」(連携企業等: 株式会社エスエーエス他)

期間: 令和4年11月を予定 対象: エアライン科教職員

内容: 企業の採用担当者による講話により教育の課題を共有し、教育効果を高めることを目的とする。

② 指導力の修得・向上のための研修等

未定

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

教育の質の保証・改善、社会に対する説明責任、学校評価を通じたガバナンス改善に向けた自主的な取り組みを促進していくことを目的とし、学校の教育活動や学校運営の状況に対して外部の学校関係者による評価を行い、その結果を教育活動・学校運営に活用する。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	・建学の精神 ・教育方針 ・校長名、所在地、連絡先等 ・学校の沿革
(2) 学校運営	・収容定員、在学学生数 ・カリキュラム、年間授業スケジュール ・資格
(3) 教育活動	・教員の担当科目、担当学年
(4) 学修成果	・キャリア教育 ・企業実習 ・就職支援
(5) 学生支援	・学校行事 ・課外活動(部活動等)
(6) 教育環境	・学生支援(健康診断、学生相談等)
(7) 学生の受入れ募集	・学生納付金 ・経済的支援措置(奨学金、授業料減免等)
(8) 財務	・収支状況
(9) 法令等の遵守	・自己点検、評価、学校関係者評価の結果
(10) 社会貢献・地域貢献	・海外実習 ・外国の学校等との交流 ・外国人留学生
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価委員会を年間2回開催し、当該意見を教育活動その他の学校運営の改善等に活用する。意見・質問: 地域との関わりについての活動状況 活用: 学校周辺地域への迷惑行為の防止を兼ねて職員が積極的にかかわっている。意見・質問: 収支状況が現在の公表方法では改善されているかが不明 活用: 前年度と比較が出来るように対処した。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和4年5月1日現在

名前	所属	任期	種別
江里口 愛	THE BASICS FUKUOKA	2022年4月01日～2023年3月31日	企業等委員
山本 周史	株式会社西鉄ホテルズ	2022年4月01日～2023年3月31日	企業等委員
水城 弘幸	西鉄旅行株式会社	2021年4月01日～2023年3月31日	企業等委員
松浦 幸平	株式会社JALスカイ九州	2021年4月01日～2023年3月31日	企業等委員
佐竹 恵一	株式会社JALグランドサービス九州	2021年4月01日～2023年3月31日	企業等委員
江口 哲郎	JR九州サービスサポート株式会社	2021年4月01日～2023年3月31日	企業等委員
堤 晃司	公益財団法人 福岡観光コンベンションビューロー	2022年4月01日～2023年3月31日	団体役職者
三浦 芳徳	公益財団法人 産業雇用安定センター	2022年4月01日～2023年3月31日	団体役職者
井上武之	教育経験者	2022年4月01日～2023年3月31日	教育経験者
松藤 大助	日本郵便株式会社 竹下郵便局 局長	2022年4月01日～2023年3月31日	卒業生

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)

URL: [www.ibc.ac.jp](http://www.ibc.ac.jp)

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業等の学校関係者との連携および協力の推進に資するため、教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を、具体的に分かりやすく、且つ積極的に提供するものとする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	・建学の精神 ・教育方針 ・校長名、所在地、連絡先等 ・学校の沿革
(2) 各学科等の教育	・収容定員、在学学生数 ・カリキュラム、年間授業スケジュール ・資格
(3) 教職員	・教員の担当科目、担当学年
(4) キャリア教育・実践的職業教育	・キャリア教育 ・企業実習 ・就職支援
(5) 様々な教育活動・教育環境	・学校行事 ・課外活動(部活動等)
(6) 学生の生活支援	・学生支援(健康診断、学生相談等)
(7) 学生納付金・修学支援	・学生納付金 ・経済的支援措置(奨学金、授業料減免等)
(8) 学校の財務	・収支状況
(9) 学校評価	・自己点検、評価、学校関係者評価の結果
(10) 国際連携の状況	・海外実習 ・外国の学校等との交流 ・外国人留学生

(3) 情報提供方法

(ホームページ)

URL: <http://www.ibc.ac.jp>

## 授業科目等の概要

(商業実務専門課程エアライン学科)																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			航空業界研究	航空業界の職種・業務内容を学ぶ 航空業界の歴史・現状・問題点等を理解する	1通	60	4	○			○			○		
○			エアカーゴ概論	航空貨物取扱全般の知識を習得する。 その他付随する田業務についても学ぶ	1通	60	4	○	△		○				○	○
○			ホスピタリティ学	航空業界におけるホスピタリティについて 実践例を交えながら気づきの感度を高める	1前	30	2	○	△		○				○	○
○			ビジネスマナー	航空業界の新社会人として必要なマナーを 習得する	1通	60	4	○			○			○		
○			日本語表現	基礎言語力を伸ばし、接客対応に必要な日 本語表現を学ぶ	1前	30	2	○			○			○		
○			TOEIC/英検対策 I・II	実用英語能力検定の合格又はTOEICの高得点 取得を目指す	1通	120	8			○	○				○	
○			就職活動講座	就職活動の流れを知り、自己分析・企業研 究を行い、就職できる力をつける	1通 2前	90	6	○	△		○				○	
○			コミュニケーションイングリッシュ	演習を通して英会話能力を身につける	1通 2通	120	8			○	○				○	○
○			第2外国語 (中国語/韓国語)	中国語または韓国語の会話能力を習得する	1通 2前	90	6			○	○				○	
○			SPI言語対策	就職試験における筆記試験(言語能力検 査)に合格できる力を習得する	1通 2前	90	6	○			○				○	
○			SPI非言語対策	就職試験における筆記試験(非言語能力検 査)に合格できる力を習得する	1通 2前	90	6	○			○				○	
○			コンピュータ	文書作成・表計算の基礎知識を習得する	1通 2通	120	8			○	○				○	

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			ペン字	演習により、美しい文字を習得する	1後	30	2		○		○			○		
○			フライトオペレーション	航空機の到着から出発までの運航の流れを理解し、運航に必要な知識を習得する	2前	30	2	○			○				○	
○			コミュニケーション学	講義・演習を通し、コミュニケーションの大切さを学ぶ。	2前	30	2	○	△		○				○	
○			観光英語	航空・観光系の英語表現を学び、会話力を習得する	2通	60	4	○	△		○					○
○			手話	演習を通して手話能力を習得する	2前	30	2		○		○					○
○			航空業界試験対策 (CA/GS/GH)	航空業界就職試験における筆記試験および面接試験に合格できる力を習得する	2前	30	2	△	○		○			○		
○			TOEIC/英検対策	実用英語能力検定の合格又はTOEICの高得点取得を目指す	2前	30	2		○		○					○
○			航空機概論	航空機の機体構造・運航システムを学ぶ	2後	30	2	○			○					○
○			観光地理	世界の国や都市、観光資源について学ぶ。	2後	30	2	○			○					○
○			社会情勢研究	世の中の流れに興味を持ち、理解し、自分の意見を交えて伝えられるようになることを目指す	2後	30	2	○			○					○
○			フレッシュャーズ教育	社会人になる前の心構えや準備を行う。課題解決できる力を身に付ける。	2後	30	2	○	△		○					○
○			LHR	学校生活における調和と自己啓発を図る	1通 2通	120	8		○		○					○
	○		空港実務	国内線および国際線の基礎知識や旅客の流れを学ぶ	1通	60	4	○	△		○					○

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
	○		グランドハンドリング	航空会社が求めるグランドハンドリング業務全般を理解する。	1通	60	4	○	△		○			○	○	
	○		CA受験対策	情報の収集・自己分析を進める。模擬面接を中心に面接対策を行う。	1通 2前	90	6	○	△		○				○	
	○		アマデウスアルテア	GDSの存在を理解し、基本操作に加え、応用操作を習得する。業界で使用する専門用語も学ぶ	1通 2通	120	8		○		○				○	○
	○		貿易実務	貿易実務検定C級の合格を目指す。貿易実務全般の知識を習得する	1通 2通	120	8	○			○				○	○
	○		ビューティー	好感を持たれる笑顔が映える顔作り	1前	30	2		○		○				○	
	○		ユニバーサルサービス	障害者や高齢者の生活の一部を体験し、理解を深める。介助の知識を身に付ける	1後	30	2	△	○		○			○		
	○		危険物取扱者試験対策	危険物取扱者乙種4類の免許取得を目指し、危険物取扱全般を学ぶ	1通	60	4	○			○				○	○
	○		TOEIC	TOEICの高得点取得を目指す。	1通	60	4		○		○				○	
	○		グランドハンドリング概論	グランドハンドリング業務に関わる概要を理解し、業務内容について学ぶ。	1後	30	2	○	△		○				○	
	○		空港実務	国内線および国際線の基礎知識や旅客の流れを学ぶ	1後	30	2	○			○			○		
	○		ブラッシュアップ講座	自己を理解し、自身の魅力、航空業界への想いを言語化する。	1後	30	2		○		○				○	
	○		CAゼミ	ディスカッションを通して、社会人としての心構えを体得する。	2後	30	2	△	○		○			○		
○			就職活動セミナー1・2	自己分析・企業研究を進め、面接対策を行う。筆記対策としてSPI言語・非言語・英語を学ぶ。	2前	60	4	○			○			○	○	

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			行事Ⅰ	行事によって調和と自己啓発を図る 初年次教育 1・2・3/スポーツ大会/業界見学	1前	30	1	△	△	○	△	○	○		○
○			行事Ⅱ	行事によって調和と自己啓発を図る 業界見学/研究発表会/ボウリング大会/ 就職強化セミナー 1・2	1後	30	1	△	△	○	△	○	○		○
○			行事Ⅲ	行事によって調和と自己啓発を図る 最終模擬面接/スポーツ大会/研究発表会/ ボウリング大会/若年者啓発講座	2後	30	1	△	△	○	△	○	○		○
○			研修旅行	旅行を通じて国際感覚と業界への理解、ク ラスの親睦を深める	1後	30	1			○		○	○		○
○			企業実習 1～ 2	空港にて1週間の現場での実習を行い、サー ビススキルを習得し業界への理解を深める	2前	60	2			○		○	○		○
		○	企業実習 3～ 16	空港にて1週間の現場での実習を行い、サー ビススキルを習得し業界への理解を深める	1前	420	14			○		○	○		○
		○	基礎英語強化	基礎から英語を学びなおす。	1前	30	2	○			○				○
		○	TOEIC	TOEICの高得点取得を目指す。	2前	30	2				○				○
		○	サービス介助 士2級 講習	サービス介助士 2 級試験合格のため知識と 実技を習得する	2前	15	1	△	○		○				○ ○
		○	卒業論文	講師の指導の下、関心のあるテーマについ て卒業論文作成を行う。	2後	16	1			○	○		○		
合計					48科目		1950単位時間(124 単位)								

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
出席と筆記又は実技による評価		1 学年の学期区分	2期
		1 学期の授業期間	15週